

人間は、社会的関係の中で生きていくものである。心の動きを考えると、自分と他者との関係がどのようなものかによって、大きく左右されるものだと思う。柄谷行人の「我々が何かを目指すときには、誰かがいつもモデルとしてある」という指摘は、まさにこの社会的関係を表しているものである。

対象が自分にとってどのような存在であるのか、それを主体的に理解しようとすれば相手のことを理解できるし、対象を拒絶し、自分から排除しようとすれば恐怖を感じることになる。私たちが他者に対してどのように接するかが、自分の心のあり方を規定することになるともいえる。